

平成27年度 奈良市エイズ対策推進会議録

開催日時	平成28年2月12日（金）午後2時から3時30分まで		
開催場所	奈良市保健所・教育総合センター 9階 会議室9-1		
出席者	委員	前田委員、宇野委員、佐藤委員、西川委員、戸毛委員、上野委員	
	事務局	佐藤理事、竹内次長、木村課長、奥村補佐、東田係長、川崎、武田、高橋、王永、武藤	
開催形態	公開（傍聴人 0人）	担当課	奈良市保健所保健予防課

議題 又は 案件	<p>1 平成27年度奈良市エイズ対策と課題について</p> <p>①若年層へのHIV感染予防のための対策</p> <p>②HIV感染者の早期発見・早期治療のための対策</p> <p>③陽性者への支援のための対策</p> <p>2 平成28年度奈良市エイズ対策事業計画案について</p>
----------------	---

決定又は取り纏め 事項	<p>1 平成27年度奈良市エイズ対策と課題について</p> <p>①若年層へのHIV感染予防のための対策 学校に興味を持ってもらえるような内容を検討</p> <p>②HIV感染者の早期発見・早期治療のための対策 一次医療機関への啓発として、エイズ拠点病院の医師からの啓発文を継続していく。</p> <p>③陽性者への支援のための対策 一事例ずつエイズ拠点病院と相談し、支援していく。</p> <p>2 平成28年度奈良市エイズ対策事業計画については承認。</p>
----------------	--

議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等

<p>1 平成27年度奈良市エイズ対策と課題について【参考資料1】</p> <p>①若年層へのHIV感染予防のための対策</p> <p><u>保健所がエイズ教育を拡大していく為の効果的なアプローチ方法についての意見</u></p> <p>・西川委員より、年度初めか来年度の予定を決定する2～3月あたりに学校へアポイントを取ってはどうか、また、1～3年で段階を踏んで教育できるようパッケージを作り行なっていけばいいのではないかと意見がある。</p> <p>・宇野委員より、HIVの内容だけではなく、相手のニーズに合わせる事が大切である。先生や現場がそのようなニーズを持っているのかを分析して相手に合わせて関心度を上げるようにしていかなくてはどうか。また、HIVだけで話をする学校現場では抵抗感があるのではないかとと思われるので、自分の身体、男女交際など、段階を踏んでパッケージで性感染症の部分も入れていくというのではないかと。性の多様性、男女間の交際の一部にHIVの話があればいいのではないかと。との意見がある。</p> <p>②HIV感染者の早期発見・早期治療のための対策</p> <p><u>一次医療機関とエイズ拠点病院との連携についての意見</u></p>
--

- ・前田委員より、泌尿器科では調べることがあるが、他の診療科ではなかなか難しい。気になることがあれば拠点病院へ紹介させてもらいたいとの意見がある。
- ・佐藤委員より、エイズ拠点病院が早期発見のために、一次医療機関に協力してもらいたいこととして、他の性感染症にかかっている方で HIV も検査したら陽性となる患者が多い為、何か一つの性感染症を見つけたら、HIV も感染しているかもしれないという視点で診察をしてもらうと、感染の初期症状として、伝染性単核球症のような症状が出ることもある為、内科の先生には、同様の症状に HIV もあることも考慮して診察をしてほしいとの意見がある。
- ・宇野委員より、奈良県医師会員向けの研修会では、告知の仕方、検査の進め方は現場の診療ではニーズが高いと思われたとの意見がある。

#### 拠点病院との連携体制整備、診療体制整備についての奈良県の現在の対策

- ・戸毛委員より、エイズ拠点病院にはカウンセラーを派遣している。H27 年は 103 件実施。孤立しがちな患者さんの心理的サポートを行っている。また、県内の 13 協力病院との連携会議の開催をしている。予防内服の設置や情報提供を実施。保健所の検査健診受診率の向上に向けては奈良新聞や電子掲示板を利用し啓発を行なっているとの意見がある。

#### ③陽性者への支援のための対策

##### 保健所 HIV 抗体検査時の陽性者への告知時の意見

- ・佐藤委員より、今は治療を継続することで、自分自身の生活を維持することが可能であること、治療の必要性と治療することで完解状態に出来ること、費用面での行政の支援があることを併せて伝えているとの意見がある。
- ・宇野委員より、受診が途絶えてしまう理由として、経済面の心配や周囲へ情報が漏れることが心配との理由がある。受診の必要性、お金の心配は要らないこと、情報が漏れるのではないかと心配している方がいることである。病院から情報が漏れることはなく、お金の心配も要らないことを伝えることが大事との意見がある。

##### 今後、保健所 HIV 抗体検査以外で支援が必要な患者がいた際の保健所の動きについての意見

- ・宇野委員より、結核の DOTS から HIV 感染が判る、認知症で HIV 陽性が判るケースがある。薬を飲めたらコントロールできるが、薬が飲めないケースが出てくるのではないかと危惧している。そのような全てのケースを保健所で支援するのは難しいが、どれくらいで地域へ繋いでいくべきかは判断が難しい状況である。1 例 1 例積み上げていってどの程度支援が必要か、どのように関わっていくべきか分かってくるのではないかと思われる。

#### 2 平成 28 年度奈良市エイズ対策事業計画案について

事務局より「平成 28 年度奈良市エイズ対策事業計画案」について説明。

資料	【参考資料 1】HIV 感染症について知っておいて欲しいことと奈良市保健所 HIV 抗体検査について
----	--